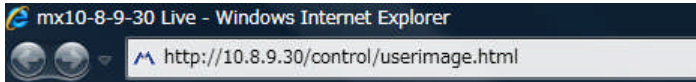


MOBOTIX 音声アラーム

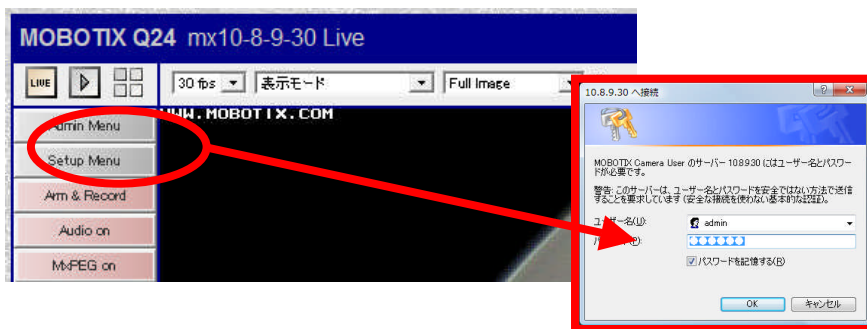
1. ブラウザから設定したいカメラにアクセスします。



2. カメラの「Admin Menu」をクリックして、ユーザ名とパスワードを入力します。

初期ユーザ名 : admin

初期パスワード : meinsm



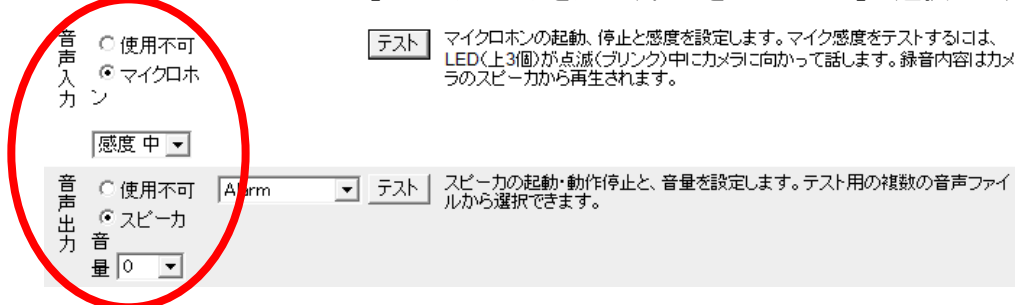
3. 「オーディオと通話機能」から「**スピーカーとマイクロホン**」をクリックします。

オーディオと通話機能

- **スピーカーとマイクロホン**
- [カメラの音声管理](#)
- [VoIP設定](#) SIP電話用
- [電話プロフィール](#) 発信SIP/ISDN音声呼用
- [電話着信](#) 着信SIP/ISDN音声呼用
- [カメラ電話](#) 他の電話へのダイレクトSIP/ISDN音声呼の生成

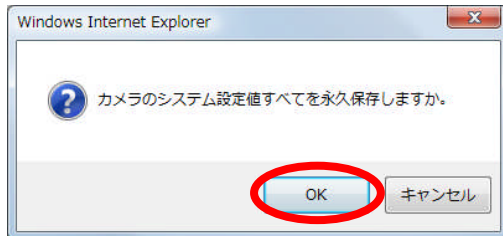
4. ページ右下に **一部** のボタンがあることを確認します。 **全体** の場合は、クリックして画面表示を全体に切り替えます。

5. 音声入力の「マイクロホン」にチェックマークを入れ、感度を低/中/高の3段階から選択します。また、音声出力の「スピーカ」チェックマークを入れ、音量を「-30~+30」で選択します。



6. **設定** をクリックして、画面がぱっと切り替わったら **閉じる** をクリックして、ポップアップページの「OK」でフラッシュメモリに保存します。

*以後、一つの設定項目で設定変更が終了した場合、必ずこの動作を行います。



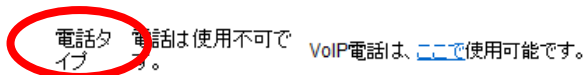
7. 再度「Admin Menu」を開き、「オーディオと通話機能」から「ボイスメッセージ管理」をクリックします。

オーディオと通話機能

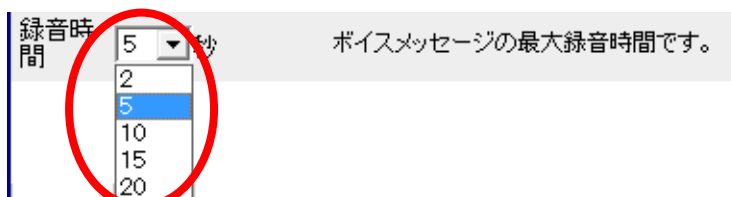
- **ボイスメッセージ管理**
- VoIP設定 SIP電話用
- 電話プロフィール 発信SIP/ISDN音声呼用
- 電話着信 着信SIP/ISDN音声呼用
- カメラ電話 他の電話へのダイレクトSIP/ISDN音声呼の生成

8. 御自身の声をカメラに録音致します。

まず、電話タイプを選択します。カメラに VoIP の設定などがされておらず、カメラのマイクを使用して録音する場合は必要はございません。

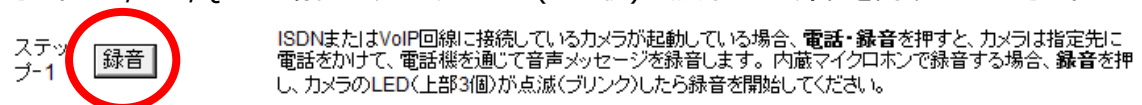


9. 次に、録音時間を選択します。



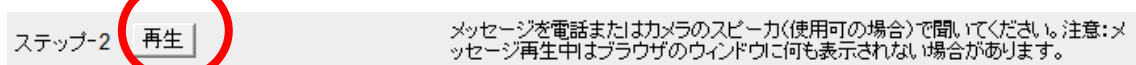
10. 次に**録音**をクリックして、カメラのマイクに向かって録音したい音声を吹き込みます。

録音の開始は、M12/D12 の場合はカメラの LED(上部 3 個)が点灯したら録音を開始してください。M22/M24/Q24 の場合は、カメラの LED(全 2 個)が点灯したら録音を開始してください。

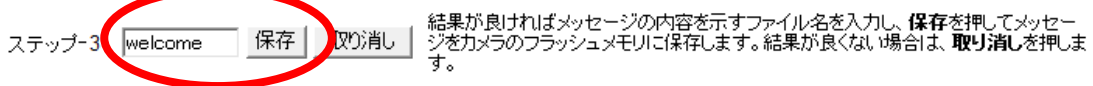


ISDNまたはVoIP回線に接続しているカメラが起動している場合、電話・録音を押すと、カメラは指定先に電話をかけて、電話機を通じて音声メッセージを録音します。内蔵マイクロホンで録音する場合、録音を押し、カメラのLED(上部3個)が点滅(ブリンク)したら録音を開始してください。

11. 次に、ステップ 2 で表示された **再生** をクリックし、録音された音声を確認します。



もし音声に問題がなければステップ 3 でメッセージ名(*必ず英数字)を入力し、**保存** をクリックしてカメラ内部フラッシュメモリに保存します。もし、変更したい場合は、ステップ 1 からやり直します。

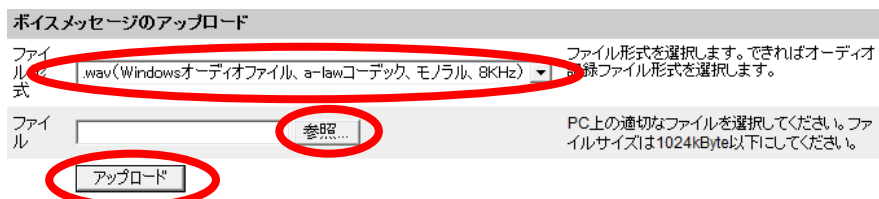


12. 最後に保存された内容を確認して終了します。

また、保存された録音ファイルは PC にダウンロードすることができ、その他のカメラにコピーすることが可能です。



13. カメラのマイクを通して録音する方法以外に、PC 上の音声ファイルをアップロードすることも可能です。ファイル形式でアップロードしたい音声ファイル形式(*.tar,*.wav,*.al)を選択し、**参照...** をクリックして PC 上の音声ファイルを選択した後に **アップロード** をクリックしてアップロードを行います。



14. 不必要な音声データは **削除** をクリックして削除してから新しい音声データを作成してください。使用できるデータ容量は未使用の記載データをご確認ください。

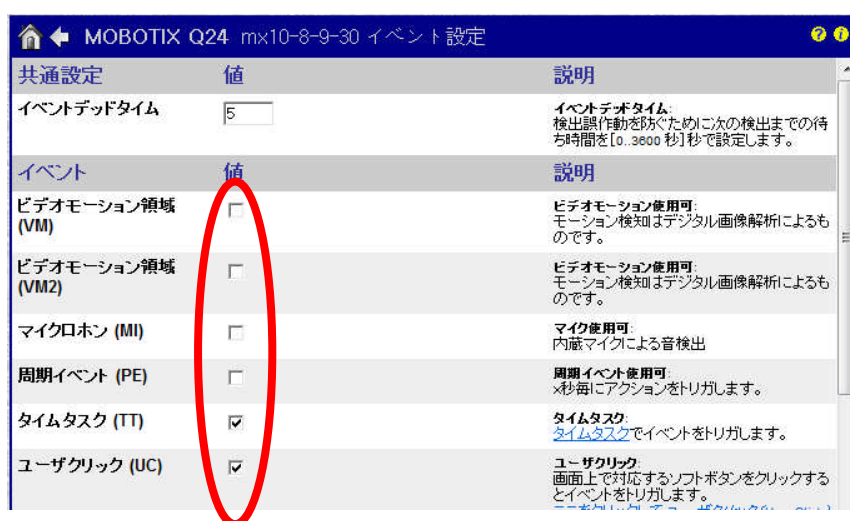


15. 次に Setup Menu を開き、イベントと関連付けを行います。

まず、Setup Menu の「イベント共通設定」開き、動作待機が「使用可」に設定します。



16. 次に SetupMenu の「イベント設定」で、音声アラームを行いたいカメラのイベントを設定します。



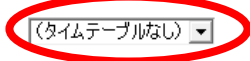
17. 最後に Setup Menu の「メッセージ送信」もしくは「メッセージ送信 2」を開き、イベントと音声アラームの関連付けを行います。

メッセージプロファイル: 使用可に設定します。



メッセージプロファイルを使用可にします。このメッセージプロファイルを制御します。使用可: プロファイルを起動します。

タイムテーブル: 音声アラームする時間を制御します。応用マニュアル「タイムテーブル」をご参考ください。



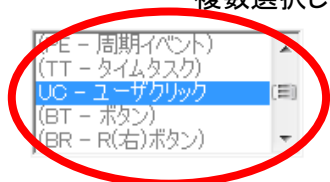
Time Table Profile: このメッセージプロファイルのタイムテーブルです。(タイムテーブル)

メッセージ動作のデッドタイム: 一度目の送信からデッドタイムを設け、連続する無用なメール送信を防ぎます。



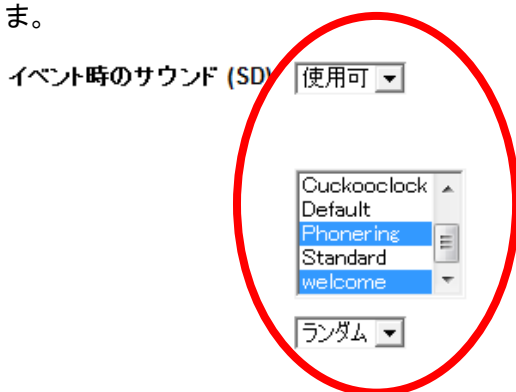
メッセージ動作のデッドタイム: 新しいアクションを実行するまでのメッセージ動作タイムアウト[0..3600 秒]です。

イベント選択: E メール送信したいイベントを選択します。グレイアウトしているイベントは有効になっていません。イベント設定で有効にしてから選択してください。
複数選択したい場合は、「Ctrl」キーを押しながら、左クリックをします、



イベントの選択:
メッセージをトリガするイベントを選択します。
1つ以上のイベントを選択するには[Ctrl]キーを押しながらクリックします。
ブラケットで囲まれたイベントをまず**起動**する必要があります。
フィルタイベント用の**EC**または**EL**。

18. アクションの**イベント時のサウンド(SD)**で、サウンド使用可で「**使用可**」を選択し、再生リストから音声ファイルを選択します。複数選択する場合は「Ctrl」キーを押しながら、音声データをクリックします。その場合、再生シーケンスで音声データの発生手順を選択し、設定を終了します。



サウンド使用可:
イベントが検出されたら、1つ以上のサウンドをスピーカで再生します。[ボイスメッセージ管理](#)

再生リスト:
1つ以上のオーディオメッセージを選択するには[Ctrl]キーを押しながらクリックします。

再生シーケンス
再生リストの再生シーケンスです。

19. 画像内右下に「EM」のシンボルが追加にされたことを確認します。最後に選択したイベントが発生すると、「EM」のシンボルが水色に変化し、カメラから音声データが発生することを確認してえ終了です。

